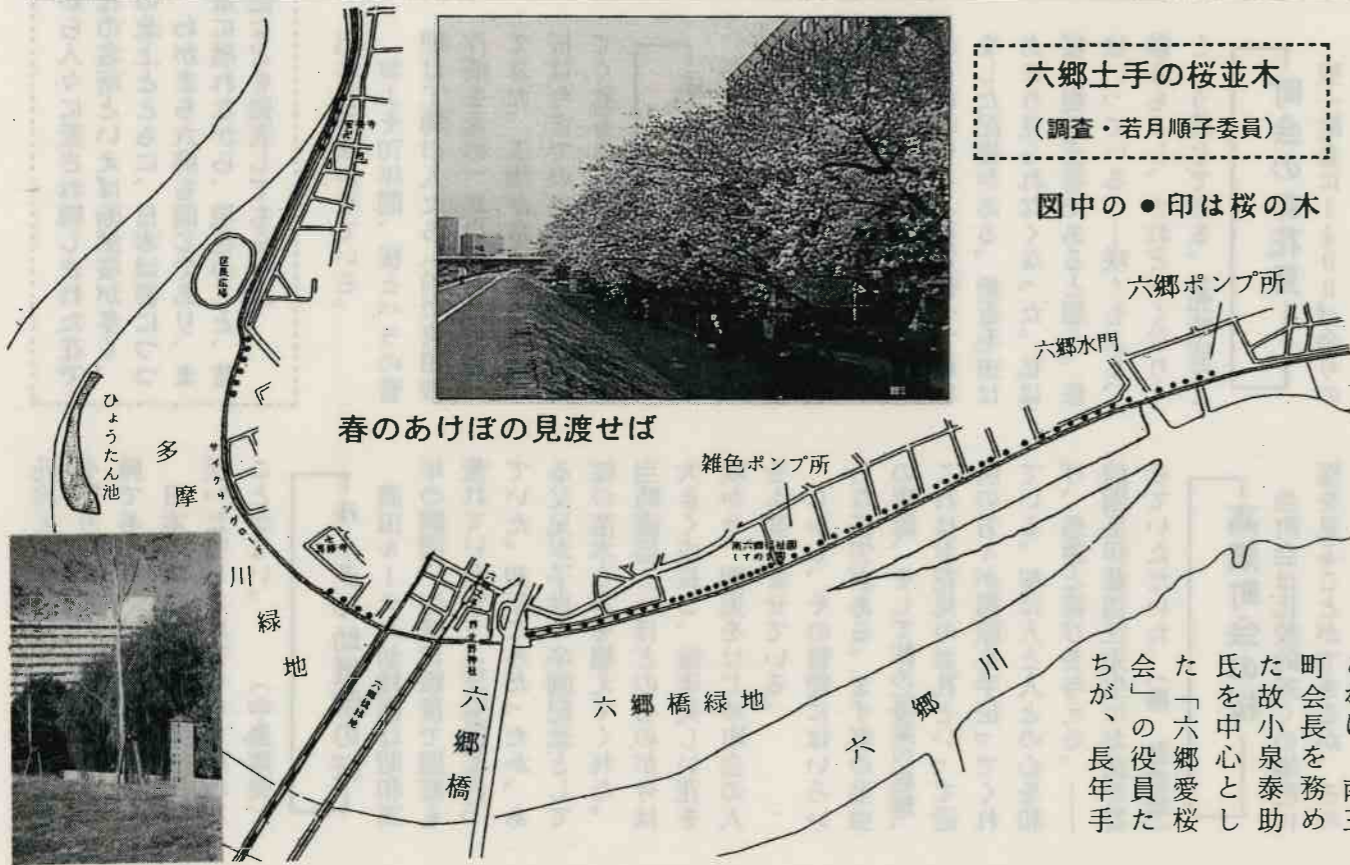


六郷特別出張所管内	
人口	男31,875名
	女30,268名
	計62,143名
世帯数	28,053世帯
平成14年3月1日現在	

六郷わがまち

発行 わがまち大田
 六郷地区推進委員会
 編集 「六郷わがまち」編集委員会
 事務局 大田区六郷特別出張所
 〒144-0055
 大田区仲六郷2-42-2
 電話 03(3732)4885(代)



「1万本の桜が」 「多摩川両岸に」

現在の堤防がほぼ完成をみた昭和4年春、多摩川両岸の1市8町村(川崎市・中原町・高津町・砧村・玉川村・東調布町・矢口村・六郷町・羽田町)の有志が、「大多摩川愛桜会」を結成し、両岸約40キロメートルに1万本の桜を植えて大遊歩公園とする計画をたてた。

植え初めの式は翌5年3月15日に行われ、万葉の桜は人々の親しみ愛するところとなった。だが、惜しむらくは戦争末期の大空襲によって、六郷土手の多くの桜は焼失し、難をのがれた木も戦後の窮乏生活のため薪に伐られて姿を消していった。

六郷土手の桜並木

世が世でも、春らんまんとは花は咲く。朝の散歩に心を癒してくれるサクラ。むかしから宴の酒によく似合うサクラ。花に嵐のたとえもあるが、美しい眺めである。

「昭和31年春に」 「植えられた桜」

昭和30年2月、京浜急行から大田区に対して、戦前の桜並木を復活し、憩いの場として健康増進に資したいと、染井吉野1000本の寄贈申し出があった。31年5月、大田区役所で西六郷三丁目から羽田本町までの沿岸地区の町会長を支部長とする「六郷愛桜会」の結成式が行われ、「株立ち」という植樹が進んだ。以来46年、六郷土手は桜の花が舞う名所となった。

桜を育てた人

(平野順治)

六郷土手の桜並木で最も美しいのは南六郷三丁目付近である。これは、南三町会長を務めた故小泉泰助氏を中心とした「六郷愛桜会」の役員たちが、長年手

老木70本健在

(瀬谷角太郎)

昨年の1月22日、主人に手伝わってもらい、西六郷二丁目から南六郷二丁目まで、太い桜の木の本数をかぞえ、一本一本の間隔を巻尺で計っていった。寒中3時間半に及ぶ作業だった。

その結果、上図のように70本も健在であり、8メートルおきに植えられていたことも分かった。実測で7メートルが多かったのは、木の生長による縮みと思われる。(若月順子)

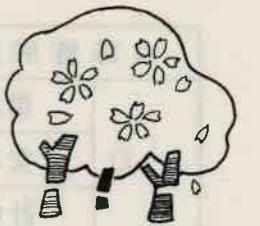
補植への提案

昭和30年ごろは空襲の焼け跡が残り荒れ果てていた。そのころ植えられた桜の苗木は丈高い草に埋もれていた。運よく生きのびた木は現在、1本の幹が枝を張るとい形ではなく、根元から太い幹が2、3本立ち上がって大きくなっている。

しかしみな老木となったし、木のない場所も多い。絶えず補植しなければ将来はさびしい。その方法の一つとして、子どもが生まれたとき、小学校入学のとき、結婚したときなどに、記念樹を植えてもらったかどうか。(高橋ハルヨ)

南一記念植樹

南六郷一丁目町会では昨年3月、創立50周年を迎える記念にと、六郷水門近くの「武蔵野の路」六郷コースに沿って、桜の若木8本を8.5メートル間隔で植え、その中央に記念碑を建てた。管理は町会の環境美化部が行っている。(竹内昭信)



桜は昔から人々に愛され親しまれた花である。花の名所といえは断然桜が多く、桜前線の北上とともに、日本は春にまつまれる。わがまち六郷も同じであり、まちの背景に触れながら、現在のこと、昔の思い出などを発表してもらった。

宮本町会の桜

今から30年くらい前、区からソメイヨシノの苗が配布され、その残された苗木を原田さんが国道沿いの小さな公園に3本植え、それが毎年きれいな花を咲かせ、通る人の心をなごませている。また町会内にもその時の木が残っており、ほかにも観音寺にソメイヨシノ3本、ヤマザクラ3本、紅シダレ3本など、また六郷神社、幼稚園、六郷土手などにも桜があり、毎年見事に咲いている。(平野みよ子)

白山神社の桜

昭和47年ごろ区役所から苗木の配布があり、故石渡前会長ら役員が植えた。現在2本が残り、そのうちの1本は区の保護樹林に指定されている。春になると見事に花を咲かせ、私たちを楽しませてくれる。(大湊幸子)

工場跡地と桜

都立工校の建設予定地は、昨年まで第一パンがあった所だ。さら地にするため歩道沿いのバラは取り払われ、15本の桜だけが残された。僅か80mばかりの距離ではあるが、枝を広げた姿は、春になると見事な景観で、通勤・通学や買物の人たちが思わず歩みをゆるめていた。

向い側は遠見の桜。以前ABC製菓があったところで、ラスクを焼く甘い匂いが近所に広がるので、登・下校の子どもたちが、その香りを存分に楽しんだものだ。六郷に住み育った人たちは、今でもこの忘れ難い思い出に花を咲かせている。

毛虫と桜

桜の思い出は誰もがもっているだろう。私も小学校・中学校に入学の時、その学校に行く道には、毛虫がポタポタ落ちていた。そこで友だちと毛虫を手のひらにのせる(勇氣較べ)遊びをした記憶がある。最近毛虫はあまり見られなくなった。私は桜は樹の王者であると思う。桜はいつ咲くか。咲くもよし、散るもよし、されど咲くなりという感じである。(先崎佳子)

町会のお花見

東一町会に1400㎡余りの公園があり、そこに15本のソメイヨシノが植えられている。これは多分、昭和59年区が整備した時のものと考えられ、今年で樹齢28年から30年近いものと推定される。この桜は毎年見事に咲き誇り、そして町会役員の花見はもっぱらここで行われる。時期になるとブルーシートや莫蔭を持ち込み、家庭で作った料理を各自持ち寄っての宴会となる。賑やかな酒盛りが始まり、隠し芸が続出する。これは事業の円滑を図るための催しの一環として行っているものである。満開の花の下は明るく裸電燈は不要なくらい気持ち華やかにさせ、また、

花冷えのする時期でもあり、鼻を嚙りながらの見物、これも一興であろう。日本の象徴である桜が一斉に咲いた美しさは昔も今も変わることはない。(中島寿美)

ルーテル幼稚園の桜

蒲田ルーテル幼稚園は昭和26年の開園。当時は戦後で園庭も荒れていたため、逐次造成を行っていた。30年ごろだったか、ある父兄が子供の卒園記念として桜の苗木8本を植えてくれた。当時直径5cmほどのものが今は大きく成長し、毎年美しい花を咲かせ、園児をはじめ町会の人をも楽しませている。

高畑町会の桜

当初は比較的多くの場所に桜を見ることができたが、その主なものを二、三挙げてみよう。●西六郷三丁目公園 かなり広い公園で20cm-50cmくらいまでのもものが40本ほど植えられている。満開時は見事であり、大勢の人に愛されている。●高畑小学校 30cm以上のものが7本。第2グラウンドを含む。●高畑神社 30cm-40cm以上のものが6本。40cm以上区保護樹林。●六郷土手 公園管理事務所、専修寺界隈、30cm-60cm7本。ここは戦前お花見が催されたところで、仮設舞台なども設けられ大勢の人で賑わった。そのほかに、「高畑友和公園」などがあり、憩いの場所として親しまれている。(池中武雄)

思い出の桜

子供のころ西六郷の土手へ家族揃って桜見物に行ったことが思い出され、そこで力いっぱい走り廻った。今は家族連れが少ないようである。私たちの年代は桜には特別な思い出がなかった。散る桜残る桜も散る桜のように軍歌などで唱われていた。私たちは一時にパッと咲き、またパッと散る桜の姿を、心の支えにしてきたようである。桜は日本の花である。(溝尾辰雄)

六郷小学校と桜

私は昭和6年に六郷尋常高等小学校に入学した。その校門には立派な桜が植えられていて、花吹雪を散らしていたのが印象的だった。学校は関東大震災後、梨畑の中に再建されたといわれている。初めて手にする国語読本のページ目は、これも初めて習う言葉の「ハナ」の文字があり、挿絵には桜の小枝とその花弁が描かれていた。「ハナ ハト」読本である。

古い屋根瓦の玄関に桜の木、これはそのころの町や村でもごく普通に見られる風景ではなかったろうか。そのうえ、校舎の周りにも桜が植えられていた。学校と兵舎には桜がつきものであったようである。

昭和8年、『サクラ』読本が誕生した。巻頭の見開き一杯に色刷りで描かれた満開の桜。「サイト サイト サクラガ サイト」(宮崎 豊)



(カット・池中武雄委員)

六郷神社こども獅子舞と六郷ばやしの伝統継承に東京都教育委員会が表彰

2月8日、都庁における平成13年度の児童・生徒等表彰式で、六郷神社こども獅子舞の継承については、六郷小学校6年の飯塚健太君が、伝統ある六郷ばやしの継承については、仲六郷小学校6年の岩崎壯一郎君・大塚隆行君が、それぞれグループを代表して、教育長から表彰状と記念品が授与されました。たいへんな名誉であり喜びであります。今後いっそうの努力を期待したいものです。



区政功労者表彰 — 3月15日 — 六郷地区からは9氏

平成13年度の区政功労者として六郷地区からは、遠藤澄(南一副会長)山口瑞雄(南一副会長)竹内昭信(南一副会長)西永寄(南二団地副会長)金野慶子(東一副会長)新井勢津子(東三副会長)小石川一夫(東三副会長)矢島蕃(西一副会長)矢口哲二(高畑副会長)のみなさんに、3月15日、大田区民プラザで西野区長から表彰状と記念品が贈られました。いずれも10年以上の在職者です。